

町 長	副町長	院 長	副院長	事務長	次 長	担 当	合 議

別記様式第4号

会議等結果報告書																					
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文 書 番 号	上富病院第 102 号																		
		決 裁 期 日	令和 6 年 6 月 1 1 日																		
名 称	令和 6 年度第 1 回上富良野町立病院運営審議会																				
日 時	令和 6 年 6 月 4 日(火)18:00～18:50																				
場 所	役場庁舎 2 階審議室																				
出席者	【委 員】北川委員長、鎌田副委員長、菊地委員、中田委員、下園委員 【事務局】長岡事務長、長谷川次長、船引主査、菊地主任、杣主事																				
内 容	○改選に伴う委嘱状交付 大道委員が退任したことから、上富良野町女性連絡協議会から下園二三江委員が就任となる。 ○町長挨拶（略） ○審議会委員長あいさつ（略） 終了後町長退席 ○4 月 1 日、6 月 1 日付の人事異動で転入となった職員の紹介 協議事項 1. 令和 5 年度病院事業会計収支決算概要について (1)患者数報告 ・一般病棟入院患者数 7,025 人(前年対比 477 人) ・介護医療院入所者数 9,564 人(前年対比▲180 人) ・外来患者数 21,012 人(前年対比▲ 15 人) (2)決算概要報告 <table border="0"> <tr> <td>・病院事業収益</td> <td>858,281 千円</td> <td>・病院事業費用</td> <td>1,033,911 千円</td> </tr> <tr> <td>・経常利益</td> <td>▲175,630 千円</td> <td>・過年度損益修正損</td> <td>▲1 千円</td> </tr> <tr> <td>・当期純利益</td> <td>▲175,631 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>前年度繰越欠損金</td> <td>1,210,771 千円</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲175,631 千円</td> </tr> <tr> <td>当年度未処理欠損金</td> <td>1,386,402 千円</td> </tr> </table> 2. 町立病院改築整備 6 年度事業について ・病院建屋工事 8 月に完成 電気・機械設備、内装、外交工事 8 月～R7.12 月 ・地中熱設備導入工事 補助金の関係上、12 月までに完成し、2 月に試運転を予定 ・令和 6 年度事業として、電話・LAN 事業と医療器機及び什器備品購入を予定。医療器機等については調整交付金や地方債を活用して購入する。 ・工事にあたり、物価高騰、運送費の値上がり、労務費の増加もあり、金額によっては契約事項に基づいて協議の必要がある。			・病院事業収益	858,281 千円	・病院事業費用	1,033,911 千円	・経常利益	▲175,630 千円	・過年度損益修正損	▲1 千円	・当期純利益	▲175,631 千円			前年度繰越欠損金	1,210,771 千円	当期純利益	▲175,631 千円	当年度未処理欠損金	1,386,402 千円
・病院事業収益	858,281 千円	・病院事業費用	1,033,911 千円																		
・経常利益	▲175,630 千円	・過年度損益修正損	▲1 千円																		
・当期純利益	▲175,631 千円																				
前年度繰越欠損金	1,210,771 千円																				
当期純利益	▲175,631 千円																				
当年度未処理欠損金	1,386,402 千円																				

内 容	3. その他 ・ 4 月 1 日、6 月 1 日付の病院人事(退職、昇任) ○質疑・意見等 ・ (委員) 介護医療院については病床が増えたが、患者数は前年比ではほぼ横倍となっている。新病院になると、さらに病床が増えるとのことだが今後の計画はどうか。 (事務局) 令和 3 年度に 28 床から 32 床に増床したが、職員の人数が据え置きのため人手不足のため利用者を増やせないのが現状。待機者は随時 4～5 名おり、ベッドが空き次第入所となっている。 ・ (委員) 新病院建設にあたり、国・道補助金や地方債などを活用して CT など医療器機等を購入するとのことだが、費用は賄えるのか。また、現在使用しているものについては、廃棄または下取りに出すのか。 (事務局) 令和 3 年度から新病院で使用する医療器機を徐々に購入しているところであり、補助金や地方債で間に合う予定。今後、使用しないものについては、廃棄を予定しているが、メーカーで廃棄できないものについては町立病院で廃棄しなければならないため、廃棄料が別途かかる予定。 ・ (委員) 町立病院では内科医が退職したこともあり、医師不足が懸念される。補充についてはどのように考えているか。今後、院長の定年退職もあることから、医師の補充は重要だと思われる。夜間の当直医についても対応できているのか。 (事務局) 医師の定年退職については 73 歳まで延長されたが、医師の補充については今後も旭川医科大学病院と協議していく。夜間の当直医については旭川医科大学病院の第三内科と第一外科より派遣していただいているため、対応できている。 以上
------------	---